

東海指令・静鉄指令との 意見交換会を実施



6月4日、静岡市内において、意見交換会を実施しました。今回で4回目をむかえた意見交換会には、東海4県より約40名が参集し、同じレールの上で働く仲間として、相互より質問や問題点等を出し合い、議論を交わしました。

東海地方協議会井形事務局長の挨拶で始まり、会を代表し

て挨拶に立った東海地方協議会半田議長は、「この意見交換会は、JR連合の仲間同士だから出来る取り組みである。限られた時間ではあるが、日頃から感じている思いや考えを示していただき、さらなる安全運行に繋がってほしい」と述べられ、



貨物鉄産労を代表して挨拶に立った辻村中央執行委員長は、「この貴重な時間を無駄にせず、活発な議論をお願いしたい。また、この取り組みが、組織運動に繋がっていくことを期待している」と述べられました。



続いてのJR連合特別講演では、石川産業政策局長からの「JR連合が緊急的に対応を求める重点政策課題」を拝聴し、その後、意見交換会を実施しました。大きな中身では、

昨年11月に起きた、鷺津～新所原間 貨物列車車両不具合による東海道線終日運転見合わせについて、双方からの考えや意見を述べ、改善や検討が行えるかを話し合いました。

意見交換会終了後は懇親会を開催し、来賓としてJR連合国会議員懇談会会長の榛葉賀津也参議院議員にお越しいただき、お酒を交えながら親睦を深め、充実した時間を過ごすことができました。

今後も定期的に関催できるよう進めてまいります。

